

皆さんの意見で 札幌をもっと暮らしやすく

2つの
素案に
ご意見を

第3次札幌新まちづくり計画 素案

行財政改革推進プラン 素案

札幌をもっと暮らしやすく魅力的なまちにするための、2つの計画の素案にご意見を募集します。
より良い計画にするため、ぜひ、皆さんの声をお聞かせください。

詳細 ◎第3次札幌新まちづくり計画については政策調整課☎211-2206 ◎行財政改革推進プランについては改革推進部推進課☎211-2061



皆さんの暮らしに関わるものは
こちら

市の仕事のお金に関するものはこちら

10月

8月

6月

素案への意見を
募集します。

2つの素案を公表。

いただいた意見を集約・整理。素案への反映を検討しながら、素案づくりを進める。



無作為抽出した市民による「市民会議」では、子育てや環境、福祉などについて、さまざまな意見が寄せられました



市職員が学校に出向く「子ども出前講座」では、公園やスポーツなどについての意見が寄せられました

パンフレットや「子ども出前講座」、「市民会議」などで、素案を作るための意見を募集。

2つの素案の
これまで・今後

行財政改革推進プラン（素案）

これまで進めてきた、「市役所の仕事やお金の使い方・集め方についての改革」を、さらに推進するための計画です

改革案の一部を
紹介します

行政の
改革

市民自治の一層の推進

市政の情報をより分かりやすく提供するとともに、市民意見を市政に反映させる機会を充実させます。また、市民が身近なまちづくりの場に参加しやすい環境やきっかけづくりを考えています。

便利で分かりやすい 市民サービスの提供

市民が便利さや分かりやすさを実感できるサービスの提供を目指します。全てのまちづくりセンターで住民票などの即日交付を行えるようにするほか、ICカード「サピカ」を活用した新しいサービスの提供を計画しています。



財政の
改革

経費の節減や、事業の見直しなどを実施

景気低迷で税収が伸び悩む一方、福祉などの費用は増加しており、何も対策を行わなければ平成24年度～26年度に合計で337億円が足りなくなると予想されます。事務費の削減や事業の見直しなどを引き続き行うことで、財源不足を解消するとともに、今後の事業の費用を確保していきます。

参考

これまでの行財政改革では

平成20年度～22年度

行政

市民自治を促進するため、市政への市民参加の機会を増やしたほか、市職員が地域に出向く出前講座を実施するなど、情報提供の充実を図りました。

財政

経費の節減や人件費の見直しなどによって合計601億円を捻出しました。

生み出したお金でこんなことを
実現しました

- ・保育所の定員の拡大
- ・駅前通地下歩行空間や創成トンネル、創成川公園の整備 など